

科目名称	特別演習 I				ビジネス・キャリア	(必)	オフィス情報	(必)	
英文科目名称	Student Advisor Seminar I				グローバル・コミュニケーション	(必)	医療事務・医療秘書	(必)	
科目コード	590144	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	国際教養学科全教員		年次担当	1年次	通年	ホテル・観光	(必)	大学編入	(必)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無				
授業概要 及び授業方法	<p>現代人には、世界標準としての知的生産能力である「21世紀型スキル」が求められている。とりわけ、①相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に理解して解釈する力、②相手の考えだけでなく、自分の考えに誤りや偏りが無いかを振りかえる力が重要である。本科目では、論理的・分析的に考える力（言語スキル・数量スキル・情報スキル）、社会的常識、コミュニケーション力を養成する。それらを通じ、生活に必要な情報を正しく読み取り、人に正確に伝え、考えの異なる人の意見に耳を傾けつつ、多様な人々と協働する力と、責任感を持って自律的に社会に関わり、倫理的・道徳的判断を行い、社会的課題を改善する意識を養う。</p> <p>また、「特別演習I」は学生が短大生活にスムーズに適応できるよう支援し、社会人になるにあたっての意識を高めるための指導・助言をするための授業である。したがって、本授業では①本学の建学の精神やディプロマ・ポリシーの理解、②社会人としての教養の養成、③教員との交流を通じたコミュニケーション能力の向上等もその目的としている。</p>								
関連する科目						卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥		
授業計画	<p>(前期) ※敬称略</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学問のすすめ (土田) 2. 就職準備セミナー 3. 短大で学ぶとは (コース・アドバイザー) 4. 1・2年生の交流 (コース・アドバイザー) 5. フィールドワーク入門：日常を学問する (海野) 6. 日本語のバリエーション (田中) 7. カリキュラム・デザインを作る (コース・アドバイザー) 8. 社会の知識：日本の観光資源を学ぶ (林) <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 現代社会が求める基礎能力 (コース・アドバイザー) 10. 「知らない」ことの怖さを知ろう (横堀) 11. SDGs×大学生 (呉) 12. 教養講座 (1・2年生合同) 13. 日本語と英語の意味のずれ (水島) 14. コンピュータの歴史 (山本) 15. エンプロイアビリティと秘書的センス (柚木崎) 								
授業時間外の学習	<p>【予習】各授業を受講する前に授業のテーマを確認し、そのテーマについて調べておくこと。 コース・アドバイザーの授業に関しては、担当教員の指示に従うこと。</p> <p>【復習】授業を通じて考えたことについて、600～800字程度のレポートを作成する。(2時間程度)</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 相手の立場に立って自分の考えを述べ、積極的な姿勢で相手の話を聴くことができる。 ② 大学生として求められる教養とは何かを理解し、身につけるための努力ができる。 ③ 情報を鵜呑みにせず、自分で調べたりなどして、その真偽を確認することができる。 ④ 社会の一員としての自覚を持ち、身の回りの事柄を世界との関係の中で考えられるようになる。自分の行動が世界に影響を及ぼすことが理解できる。 ⑤ 目標を達成するために、自分で計画を立てて実行することができる。気が散りそうになっても、自分で自分を管理することができる。 ⑥ 職業を通じて社会に貢献する気持ちを持つことができる。 								
課題に対する フィードバック	フィードバックは各回の担当教員が受講した学生に対して与える。	評価方法・基準		<p>【オムニバス授業：全9回及び 研究倫理教育：オンライン研修(課題)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふりかえりシート : 20% ②授業貢献度 : 10% ③ふりかえりレポート : 40% <p>※研究倫理教育は課題扱いとし、評価の対象とする。修了した者には満点を与える。</p> <p>【コース・アドバイザーによる活動：全4回】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふりかえりシート : 10% ②授業貢献度 : 5% ③課題・発表 : 15% 					
テキスト	必要に応じて指示する。								
参考書	随時、授業で紹介する。								
備考									